

単元指導計画表～振り返り編～

小学校第6学年

速さ 【新編 新しい算数6 p. 108～119 (東京書籍)】

全11時間

数学的な見方・考え方

見方・・・～に着目する
 考え方・・・～を論理的に考える ～を筋道立てて考える
 ～を基に考える ～と関連付けて考える
 ～と結び付けて考える ～の条件を変えて考える
 ～の適用範囲を広げて考える

振り返りの視点



ア) 何が分かったか、何ができるようになったかについて
 イ) 何に着目したか、どのように考えたかについて
 ウ) 次の学習の見通しを持ったり、生活とのつながりを考えたりしたかについて

次	時	教科書のページ 本時のねらい	中心となる 数学的な見方・考え方 <small>※本来は一体として捉えるものですが、見やすさを考慮し、分けて記載しています。</small>	視点 振り返りの	具体的な言葉掛け例 →期待される児童の反応例	方法 振り返りの
1	1	p. 108～111 速さを決める量を体験的にとらえる。 速さは単位量当たりの大きさの考え方をを用いて表せることを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 距離または時間のどちらかを一定にすることに着目する。 5年生で学習した単位量当たりの大きさの考え方と関連付けて考える。 	イ	<ul style="list-style-type: none"> 速さを比べるには、どうしましたか。 →距離か時間のどちらかをそろえた。 	口頭でのやり取り
	2			イ	<ul style="list-style-type: none"> 今日の学習を振り返って気付いたことや分かったこと、もっと知りたいことなどを書きましよう。 →単位量当たりという考え方があったことを思い出した。 →速さを比べるにはいろいろな考え方がありそうだ。 	学習感想
	ア	<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習のどんな考えが使えましたか。 →1当たりの量、単位量当たりの大きさ。 		口頭でのやり取り		
3	p. 111 速さの表し方への興味を広げる。	<ul style="list-style-type: none"> 距離または時間の1当たりの量に着目する。 距離または時間のどちらかを1にそろえると分かりやすいか条件を変えて考える。 	イ	<ul style="list-style-type: none"> 速さを比べるには、距離と時間のどちらかを1にそろえると分かりやすいと思いましたが、また、それはなぜか書きましよう。 →時間を1にそろえた方が分かりやすい。速いほど1秒当たりの距離が大きい数字になっていくから。 →距離を1にそろえたほうが分かりやすい。時間が短いほど速いと分かるから。 →どちらが分かりやすいかまだ分からない。次の算数の時間で分かっていくのかな。 	学習感想	

4	p. 111~113 速さを求める公式を理解し、それを適用して速さを求める。 時速・分速・秒速の意味を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 単位時間あたりに進む道のりに着目する。 単位時間に着目する。 速さの表し方を基に速さを求める公式を考える。 時速・分速・秒速について60という数字を基に考える。 	ア	<ul style="list-style-type: none"> 速さを求める公式は何ですか。 → $速さ = 道のり \div 時間$。 時速から分速を求めるには？ → $時速を60でわる$。 分速から秒速を求めるには？ → $分速を60でわる$。 	□頭でのやり取り
			ア	<ul style="list-style-type: none"> 速さを求める公式や時速、分速、秒速の意味が分かったか教科書の問題で確かめましょう。 	適用問題
5	p. 113 道のりを求める公式を理解し、それを適用して道のりを求める。	<ul style="list-style-type: none"> 時間と道のりが比例の関係にあることに着目する。 道のりを求める方法を、速さと時間を基に考える。 	ア	<ul style="list-style-type: none"> 道のりを求める公式は何ですか。 → $道のり = 速さ \times 時間$。 	□頭でのやり取り
			ア	<ul style="list-style-type: none"> 公式を使って道のりを求められるか教科書の問題で確かめましょう。 	適用問題
6	p. 114 速さと道のりから時間を求める方法を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 既習の「道のり＝速さ×時間」の公式に着目する。 時間を求める方法を、数直線を基に考える。 	ア	<ul style="list-style-type: none"> 時間を求める方法は分かりましたか。 → 「道のり＝速さ×時間」を使って解く。 速さや道のり、時間を求める問題を解くときに、気を付けなければならないことは何ですか。 → 問題の中で、速さや道のりなどの単位がそろっているかどうか。 	□頭でのやり取り
			ア		<ul style="list-style-type: none"> 時間を求めることができるか教科書の問題で確かめましょう。
7	p. 115 時間を分数で表して、速さの問題を解決する。	<ul style="list-style-type: none"> 速さや時間を求める公式に着目する。 5年生での既習事項を基に時間を分数で表す方法を考える。 	ア	<ul style="list-style-type: none"> 「〇時間〇分」で表された時間を分数に直したり、分数で表された時間を「〇時間〇分」に直したりすることができましたか。 「〇時間〇分」と出てきたとき、計算するにはどうしたらよいでしょうか。 → 「〇分」の部分を「〇/60時間」に直す。 	□頭でのやり取り
			イ		<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習のどんな考えが使えたか書きましょう。 → 5年生で勉強したことを使ったらできた。 → 時計で考えて60分の中の何分かということを考えたら分かった。
8	p. 116 速さが一定のときに、時間と道のりが比例の関係にあることを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 道のりを求める式が使えることに着目する。 速さが一定ならば、道のりは時間に比例することと関連付けて考える。 	ア	<ul style="list-style-type: none"> 今日分かったことはどのようなことですか。 → 時間が2倍、3倍、…になると、道のりも2倍、3倍、…になる。 → 時間と道のりは比例している。 それはいつでも使えますか。 → 速さが決まった数のときに使える。 	□頭でのやり取り
			イ		

				イ	<ul style="list-style-type: none"> ・比例の学習と似ているところは何か書きましょう。 →時間と道のりが、2倍、3倍…の関係になっているところ。 →比例の「$y \div x = \text{決まった数}$」という決まりが使えること。 	学習感想
	9	p. 117 作業の速さも単位量当たりの大きさの考えを用いて比べられることを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・単位量当たりの大きさの考えに着目する。 ・単位量当たりの大きさの考えの適用範囲を広げて考える。 	イ	<ul style="list-style-type: none"> ・作業をする速さは、何を基にして比べますか。 →「1時間当たり」「1分当たり」の作業の量で考える。 	口頭でのやり取り
				ア	<ul style="list-style-type: none"> ・作業の速さを比べることができるか教科書の問題で確かめましょう。 	適用問題
				イ	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアになって考え方を説明しましょう。 	
	10	p. 118 学習内容を適用して問題を解決する。	<ul style="list-style-type: none"> ・分単位や時単位の時間を分数で表す方法に着目する。 ・速さ、時間、道のりを求める公式を基に考える。 	ア	<p>【導入での言葉掛け】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・速さの学習の振り返りです。学習したことが理解できたか、「力をつけるもんだい」で確かめましょう。 	適用問題
				ウ	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活のどんな場面で速さが使われていますか。 →野球の球の速さが時速で表されている。 →エレベーターの速さが分速で書いてあった。 	口頭でのやり取り
	11	p. 119 学習内容の定着を図るとともに、できたこと、つまずいたところを整理する。	<ul style="list-style-type: none"> ・時速、分速、秒速の意味に着目する。 ・分単位や時単位の時間を分数で表す方法に着目する。 ・速さ、時間、道のりを求める公式を基に考える。 	ア	<p>【導入での言葉掛け】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・速さの学習の振り返りです。学習したことが身に付いたか、「しあげ」の問題で確かめましょう。 	適用問題
				ア	<ul style="list-style-type: none"> ・この単元で分かったことやできるようになったことは何ですか。 →速さ、道のり、時間の3つには関係がある。 →速さ、道のり、時間のうち2つが分かれば、残りの1つが求められる。 →時間と道のりは比例の関係にある。 	口頭でのやり取り
				ウ	<ul style="list-style-type: none"> ・この単元で興味を持ったこと、関心が出てきたことを書きましょう。 →学校から家まで歩いて帰るときの速さを調べてみたい。 →高速道路を80 kmで走ると、目的地までのくらの時間でいけるのか計画を立てることができそう。 	学習感想

※「本時のねらい」について

現在、宮城県内の市町村立小・中学校では算数・数学科において東京書籍の教科書を採択しており、専門研究員所属校でも算数・数学科の年間指導計画は東京書籍の「指導計画作成資料」を参考に作成している。本資料「単元指導計画表～振り返り編～」中の「本時のねらい」は、専門研究員所属校の年間指導計画より記載したものである。